



1回(昭2年卒)～
23回(昭24年卒)
卒業生2,835名



1回(明43年卒)～
39回(昭24年卒)
卒業生3,327名



1回(昭23年卒)～
64回(平24年卒)
卒業生28,399名

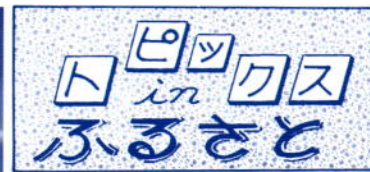


双鶴同窓会報

発行〒624-0841
京都府舞鶴市引土145
京都府立西舞鶴高等学校

双鶴同窓会
☎(0773) 75-3131

編集 松田 潔
責任者 井田 和志
印刷 オガワ 印刷



▲来年5月に京都舞鶴港に入港する「サン・プリンセス」



◀海から見た赤れんがパーク



▲赤れんがパークのオープニング

1 赤れんがパークの完成

舞鶴市には、明治・大正・昭和初期に建てられた赤煉瓦建造物が多数残っています。中でも北吸地区の赤煉瓦倉庫群においては、これまで赤れんが博物館(1号棟)、市政記念館(2号棟)、まいづる智慧蔵(3号棟)が開館されましたが、新たに赤れんが工房(4号棟)とイベントホール(5号棟)の2棟が整備されて、5月に赤れんがパークとしてグランドオープンしました。

2 クルーズ客船の京都舞鶴港入港

昨年11月に京都舞鶴港が、日本海側拠点港の「国際海上コンテナ」、「国際フェリー・国際RORO船」、「外航クルーズ」の3機能について選定を受け、京都舞鶴港の持つポテンシャルが国レベルで評価・確認されました。

近年は、貨物船のほかにクルーズ船等も寄港し、昨年11月には、舞鶴港第2埠頭に国内最大の豪華客船「飛鳥Ⅱ」(5万142トン、旅客定員872人)が寄港。

本年7月末には舞鶴港と韓国の浦項間日港間の定期航路を目指して、クルーズ船を利用したフェリートライアル(試験航行)が実施されます。また、同月に舞鶴港発着の「ばしふいっくびいなす」(2万6549トン、同644人)の佐渡クルーズ、9月に新潟発の「飛鳥Ⅱ」日本海クルーズの寄港、10月に舞鶴港発着の「ばしふいっくびいなす」の東北クルーズ、9月と3月に新日本海フェリーの舞鶴・丹後周遊クルーズが予定されています。

さらに、来年5月・7月には、外国の大型クルーズ客船「サン・プリンセス」(7万7千トン、同2022人)が初寄港するなど、賑わいを見せています。

ご挨拶

舞女・舞中のDNAは今に

双鶴同窓会会長 南 房夫



今年の2月は、舞鶴で観測史上最も多く87センチの積雪を見ました。4月初めには日本海で発生した爆弾低気圧とやらが日本列島を北に駆け抜けて各所で被害が出ました。桜の開花は例年より1週間ほど遅れました。

西高の卒業式の3月1日は暖かい日に恵まれて、厳肅な中に教職員と生徒の皆さんの思いが

凝縮した立派な卒業式が挙行され、三〇〇羽の若鶴が巣立ち、同窓会にピカピカの新入生を迎えました。卒業式や卒業式後の教職員の卒業を祝う会や、新学期前の異動時の歡送迎会には同窓会長がご招待を受け、冒頭に祝辞や挨拶をさせて頂いていきます。

本来卒業式以外は同窓会長は呼ばなくてもよいと思いますが、学校運営に同窓会の存在を重く

配慮され、大変な気遣いをして戴いています。この春の歡送迎会で、転入された先生から「双鶴同窓会」の双鶴との命名のなり立ちが聞かれました。

本校は昭和23年に、戦後の学制改革で、旧制舞女・舞中が併合され、西舞鶴高等学校になり、同時に同窓会が設立されたとの記録はありますが、その謂れは聞いていません。毎回挨拶はちよつと考えますが・・・そこで

「双鶴とは二羽の鶴です。一羽は明治40年生まれに加佐郡立舞鶴高等学校の雌鶴、もう一羽は大正11年生まれの京都府立昭和23年に「つがい」になりま

あつて、私たち教職員は、普段通りに勉強ができることを生徒とともに感謝しながら毎日をごさねばと思っています。

現在、全日制は、普通科六クラス、理数探究科一クラスの一年計七クラス、全校二十一クラスの生徒数八百四十名を数える学校規模となり、府北部の中学校としてますますその存在感を大きくしています。また、通信制では、二百名を超える生徒が在籍し、自学自習という学習形態の中で、仕事や家庭との両立を図りながら高校卒業の資格取得を目指しています。

一方、課外活動においては、部活動に、生徒会活動に、ボラ

した。歳の差15の姉さん女房の夫婦です。そして生まれた若鶴が京都府立西舞鶴高等学校です。西舞鶴高校の校歌の2ばん「愛宕山すがしき緑、彩雲のかがよふところ、舞い上がる若鶴ここに・・・」とある若鶴は正に西高卒業生です。

舞女・舞中の優秀なDNAを受け継いで生まれた若鶴、この鶴に文武の道を教え育て、社会へと巣立たせるのが教職員の皆さんの力です。同窓会は教職員皆さんと卒業生の熱烈なサポートです・・・と、その場での思いを自分なりに解釈して話しました。

本校に理数探究科ができたの

が平成18年、以前にもまして学校としてのレベルと生徒の資質や社会的な評価は高くなり、入学難関校となりました。

高校受験生・生徒・保護者にも良い緊張感が生まれています。あらゆる機会に、校長先生を初め全教職員の方々の教育・生徒指導に対する思いには熱いものを感じます。先生方は本校の伝統と校風をよく理解されて生徒指導に専念されています。

舞女・舞中の伝統は受け継がれています。

我が母校健在なりであります。



ごあいさつ

校長 福井秀之



向署の候、双鶴同窓会の皆様方におか

れましては、ますます御健勝にて御活躍のことと心からお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に對しまして、温かい御理解と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。私事ではあります、今年度の人事異動により、退職されました倉垣誠校長の後任として参りました。

前任の倉垣校長と同様、宜しくお願いたします。

さて、東日本大震災発生から一年余が経過しました。この震災でお亡くなりになりました多くの方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様をはじめ現在も避難生活を余儀なくされておられます皆様

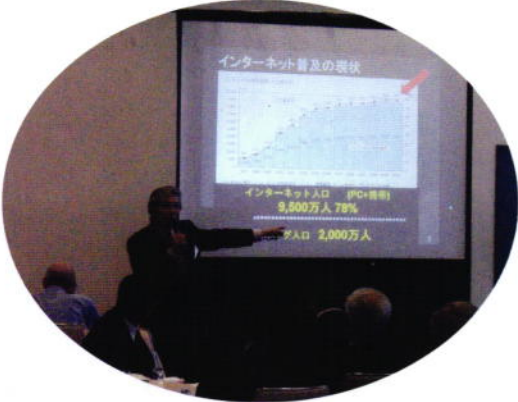
に心からお見舞いを申し上げます。未曾有の国難に直面する中に

政治・経済や景気の状態はいよいよ不透明となり、震災からの復興とともに、その回復が待たれる状況です。今年度の高校生の雇用状況は昨年に続き過去

結びにあたりまして、双鶴同窓会のみならずの御発展と会員の皆様方の御健勝・御多幸をお祈り申し上げます。

平成二十三年 度 総 会 開 催

平成二十三年 度 評 議 員 会 が 六 月 十 一 日 に、西 駅 交 流 セ ン ター で 開 催 さ れ ま し た。会 員 約 百 二 十 一 名 が 参 加 し、事 業 報 告・会 計 報 告・監 査 報 告 が な さ れ ま し た。 評 議 員 会 後 に、記 念 事 業 と し て「双 鶴 同 窓 会 ホー ム ペー ジ の 開 設」が 紹 介 さ れ ま し た。



平成23年度 双鶴同窓会各支部役員

【東京支部】

支 部 長 山 口 文 明 (昭36定)
事 務 局 長 澤 田 謙 二 (昭48高)
〒160-0011 東京都新宿区若葉3-4
TEL/FAX 03-3353-7165 (自)

【京都支部】

支 部 長 小 田 彬 人 (昭27高)
事 務 局 長 宗 方 嘉 浩 (昭28高)
〒611-0022 京都府宇治市白川鍋倉山14-1-5103
TEL/FAX 0774-28-1507 (自)

【阪神支部】

支 部 長 福 田 徹 士 (昭33高)
事 務 局
〒666-0143 川西市清和台西5-2-72
TEL/FAX 072-799-3735 (自)

◎定時制の会会長 植 村 英 人 (昭27定) 本部理事
◎通信制の会会長 岩 田 護 (平9高) 本部理事

平成23年度 双鶴同窓会本部役員

会 長 南 房 夫 (昭32高)
副 会 長 岸 本 真 澄 (昭20中) 舞 中 部 会 長
飯 尾 幸 子 (昭17女) 舞 女 部 会 長
大 瀧 隆 信 (昭37高) 高 校 部 会 長
藤 岡 由 美 (昭40高) 高 校 副 部 会 長
内 藤 行 雄 (昭41高) 高 校 副 部 会 長
小 西 正 純 (昭45高) 高 校 副 部 会 長
理 事 長 林 田 光 弘 (昭40高)
副 理 事 長 藤 友 幸 (昭43高)
庶 務 理 事 阪 代 宏 (昭46高) 松 田 潔 (昭56高)
野 田 和 代 (昭60高) 土 師 千 穂 (昭62高)
竹 田 友 子 (昭63高) 岡 本 健 (平9高)
水 野 寛 子 (平9高) 高 井 奈 都 (平10高)
山 口 奈 美 (平17高) 出 石 奈 緒 子 (平17高)
会 計 理 事 西 村 和 夫 (昭48高)
監 査 藤 田 伊 佐 雄 (昭25高)
田 中 俊 樹 (昭36高)
顧 問 倉 垣 誠 浩 校 長
北 川 鯉 平 全 日 制 副 校 長
竹 村 尚 行 (昭47高) 通 信 制 副 校 長
与 金 村 九 二 夫 (昭26高) 事 務 局 長
第 7 代 会 長

双鶴同窓会会計報告

平成23年度一般会計報告書

(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

I. 収入の部 ¥4,654,641円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	2,976,220	
入会金	1,200,000	@4,000×300名(全日制272名、通信制28名)
記念誌等売上	18,000	名簿(4冊)売上金
寄付金	360,000	高校33回卒業生より(代表 森氏) 300,000円 会員逝去に伴う御寄付等
雑収入	100,421	普通預金利息 421円 祝儀 100,000円
合計	4,654,641	

II. 支出の部 ¥1,511,665円

項目	決算額	摘要
事業費	1,003,245	総会諸費用、各部会補助
会議費	50,000	会報編集会議
支部関係費	73,340	東京・京都支部総会祝儀、旅費
通信交通費	31,380	会議案内用切手等
事務局費	35,700	消耗品費・祝儀
特別会計へ繰入	318,000	寄付金 300,000円 名簿売上 18,000円 を特別会計へ振替
合計	1,511,665	

III. 残高の部 ¥3,142,976円(次年度へ繰越)

平成23年度特別会計報告書

(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

I. 収入の部 ¥6,446,841円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	6,127,003	
繰入金	300,000	高校 ^{33回} 卒業生より
	18,000	名簿売上げ収入より
雑収入	1,838	預金利息
合計	6,446,841	

II. 支出の部 ¥ 0円

項目	決算額	摘要
	0	支出なし
合計	0	

III. 残高の部 ¥6,446,841(次年度へ繰越)

以上、報告します。

平成24年6月1日

双鶴同窓会会長 南 房 夫
〃 理事長 林 田 光 弘
〃 会計 西 村 和 夫

平成23年度事業報告

平成23年

- 5月9日(月)第1回本部役員会 於 双鶴会館
(1) 平成23年度双鶴同窓会役員について
(2) 総会に関わる評議員会について
(3) 平成23年度仮決算報告について
(4) 会報発行の進捗状況について
(5) 各部会より
- 6月6日(月)第2回本部役員会 於 双鶴会館
(1) 総会に関わる評議員会について
(2) 平成23年度決算報告について
- 6月11日(土)同窓会報「双鶴」第35号発刊(一般会員向け)
平成23年度理事会・評議員会開催
於 西駅交流センター
(1) 理事会 48名
(2) 評議員会 121名
(3) 記念事業 「双鶴同窓会ホームページ」
の開設
(4) 懇親会 102名
- 11月6日(日)双鶴同窓会阪神支部総会開催
南 房夫同窓会長以下4名が出席
於 大阪弥生会館
- 11月14日(月)双鶴同窓会ホームページ運営委員会 全体会議
於 勤労者福祉会館3階 会議室
南 房夫同窓会長 内藤行雄運営委員長
他15名出席
(1) 会長挨拶
(2) 運営委員長挨拶
(3) ホームページ内容の説明
(4) 運営委員会組織及び委員へのお願い
(5) 今後の運営についての意見交換

平成24年

- 1月2日(土)高校33回生卒業30周年記念同窓会
南 房夫会長が出席 於 舞鶴グランドホテル
- 3月1日(土)同窓会報「双鶴」第36号発刊(卒業生向け)

会計監査報告

- 1 監査実施年月日 平成24年5月28日(月)
2 実施場所 京都府立西舞鶴高等学校
3 監査の対象 平成23年度双鶴同窓会会計
に係わる会計帳簿、収入・
支出証拠書類および保管す
る預金に関すること

上記のとおり監査を行った結果、帳簿、証拠書類、
保管預金ともに正確に処理されており、適正であった
ことを報告します。

平成24年6月9日

双鶴同窓会長 様

双鶴同窓会
会計監査 藤 田 伊佐雄
〃 田 中 俊 樹

30周年の乾杯!

第33回卒業生



第三十三回卒業生
三十周年記念同窓会実行委員長 森 宏昭

平成24年1月2日、昭和56年卒業生の30周年記念同窓会を舞鶴グランドホテルにおいて開催しました。本会には、南房夫同窓会長様や倉垣誠校長様、福田徹士阪神支部長様をはじめ、恩師の先生方にご臨席いただき、同窓生168名が集う中、大盛会に終えることができましたことを心よりお礼申し上げます。

当日は、受付段階から、「久しぶりい」「全然かわってないなあ」「元気にしてたあ」などの第一声が飛び交い、ずいぶんと久しい仲間も多かったにもかかわらず、数十年のブランクを埋めるのに多くの時間は必要ありませんでした。積もる話にあつという間に時間が過ぎていきました。やはり、同級生はいいものです。この同窓会を機に、同級生のつながり・絆が、あらためて一層深まることを期待してやみません。

終わりに、私たちの仲間がそれぞれの分野・環境のなかで活躍されることを祈念しますとともに、この同窓会の開催にあたり、ご支援いただきました、実行委員、クラス委員をはじめ、西舞鶴高校など関係の皆様にご心より感謝を申し上げます。



3組



2組



1組



6組



5組



4組



9組



8組



7組



11組



10組

卒業45周年記念同窓会

高18回卒業



▲ 高18回 卒業45周年記念同窓会 平成23年10月15日 於 舞鶴グランドホテル

五年後の再会を 誓い合って

高18回(昭和四十二年卒業) 去る平成23年10月15日(土)に、昭和41年3月に西舞鶴高校を卒業した百三十六名の卒業生が舞鶴グランドホテルに参集し、恩師の土井先生、白崎先生をお迎えして盛大に卒業45周年の記念同窓会を開催することができました。

前日は大雨で天候が心配されましたが、日頃の精進のおかげで雨が降ることもなく、屋外で記念写真を撮影して同窓会が始まりました。

物故者への黙祷、校歌斉唱、内藤実行委員長長の力強い開会挨拶、恩師紹介の後、白崎先生の乾杯の後発声で祝宴が始まると、名札で名前を確認しあつて一氣に45年前へとタイムスリップし、懐かしい思い出話に花が咲きました。外見はともかく、一瞬にして高校生に戻ったかのような気分になれるのは、やはり同級生という強い絆のせいでしょうか。

最後に応援歌で締めくくられ、5年後の卒業50周年で再会することを固く誓い合つて散会し、それぞれクラス毎の二次会へと長く熱い一日を過ごしました。

18回卒業 北野 茂

2007年(平成19年)10月12日 金曜日 舞鶴市民新聞 第3種郵便物許可

昭和25年卒業・西高「双鶴十九会」 全国各地から出席・同窓生ら旧交を温める

激動の青春時代を過ごす 「双鶴十九会」の同窓生

西舞鶴高校の昭和二十五年の卒業でつくる「双鶴十九会」舞鶴大

舞鶴高校の前身の旧制舞鶴一中、旧制舞鶴第一高校に入学、戦後の学制改革で統合された西舞鶴高校の卒業生の同窓会。入学年次から「十九会」と名付けた。学徒動員で軍需工場で働いた経験もあり、戦前、戦中、戦後の動乱期の青春時代を過ごした人たち。



同会は舞鶴、阪神、京都、東京の四支部があり二十年前から毎年各支部持ち回りで同窓会を開催しており、今年 は地元舞鶴で四年ぶりの開催となった。東京都や島根県など遠来の同窓生も含め男性四十八人女性二十八人の計七十八人が出席、恩師の澤瀬寛さんも招いた。

会が十日、円満寺の舞鶴グランドホテルで開かれ、全国各地から出席した同窓会が旧交を温めた。双鶴十九会は、昭和十九年に西

合わせると思いが蘇る」と話していた。出席者たちは十一日、創立百周年を迎える母校を訪問した。



東京支部

東京の新名所が5月22日に誕生しました。高さ634メートルの「東京スカイツリー」です。展望室からは関東平野一円をはじめ遠く富士山や房総半島、東京ディズニーランドを眺めることが出来ます。

東京支部では今秋、2年に一度の総会と懇親会を開催します。日程と開催場所は、

日時 平成24年11月3日(土) 午前11時30分 受付

場所 新宿京王プラザホテル 会場 総会(正午)

43階 スターライト 懇親会(午後1時)

44階 ハーモニー
ただいま、幹事をはじめ多くの会員の協力をいただいてコツコツ準備を進めています。

何度も企画会議を重ね、多くの参加者に楽しんでいただけるよう、一丸となって取組んで参ります。ぜひとも期待してください。

昨年11月、舞鶴観光協会の辻義雄副会長(昭和48年卒)より「舞鶴まるごとマルシェ in 東京」が開

催される連絡をいただきました。

早速、東京支部の会員約200名の皆様に案内をお送りさせていただきました。舞鶴の特産品やお土産が販売され、舞鶴ブランドを広く東京でも知っていただくという催しに微力ではありましたがお手伝いをさせていただきました。このように、ふるさと舞鶴との「絆」「繋がり」の一役を担っております。

また、当支部では今西高生君(平成4年卒)の協力を得て、フェイスブックやツイッターなどを活用し、会員相互の情報交換をはかっております。

東京支部会報誌「いわし雲」を今秋に発行します。東京支部総会・懇親会のご案内はもちろんのこと、ホームページの紹介と活用を呼びかけます。

これからも、私ども東京支部にご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(事務局 澤田謙二)

阪神支部

阪神支部は、昨年11月6日に第19回を総会は例年通り「大阪弥生会館」で行いました。総会には、約百十名の参加があり、母校、本部各支部から来賓のご臨席を賜り、母校が京都北部の中核校として文



武両面で活躍していることを教えられ、同窓生として感激と誇りを感じた次第でした。

又記念講演として、村尾幸作氏(高十回、舞鶴人権擁護委員協議会会長)による「ファイインダーの中にみた、ふるさと光」という演題で「ふるさと舞鶴の宝もの」を写真で紹介を受け、故郷舞鶴を再発見したのでした。

この同窓会は、母校を卒業してから各学年の縦の繋がりを大切にしようとして2年に1回開催していますが、この趣旨が若い人達に浸透せず、出席率がよくない悩みがあります。

(事務局 福田徹士)

京都支部

ご存知のように双鶴同窓会京都支部の構成会員の範囲は京都市を含む嵯峨野線(山陰線)京丹波町(園部など)以南の京都府南部及び滋賀県全域です。現在の会員数は二、一〇〇名弱。

この会員諸氏の協力で、平成24年京都支部総会・懇親会を次のように開催します。

日時 7月1日(日) 11時30分~14時15分
会場 ホテルグランヴィア京都 (JR京都駅構内)

さて近年、いざこの同窓会の運営も時代を反映してか、財政面で困難を極めています。京都支部では、支部長の「24年を支部改革の年」をスローガンに、本部に就いて評議員制の確立、支部構成範囲の拡充(北陸三県・中部三県を加える)を目指し、規約の改正、独自の会員名簿の作成などに着手しています。会員の諸氏のご理解とご協力をお願いいたします。

平成24年6月発行の京都支部会報「洛風」の編集・発行(5月7日出来)に携わって感じたことは、事務局が会員の動向に疎いということでした。さまざまな分野で活躍される会員の情報把握に一つのルートを設ける必要を痛感しています。ぜひ、各方面のお知恵を拝借したいものです。

最後に同窓会の意義についてひと言——同窓会に若人の参加が少ないことを嘆いてはいけません。若人は私達が経験したように今が働き盛り。同窓会の参加者は、実務の一線を退いて、これまで身につけた知見・経験を人生哲学に反映できる年輩の人達によって運営されてよい。そして、いざれ参加してくれるであろう若人を支援できる力を蓄えることが大切だ、ということ。

この点については、懇親会で大いに議論を盛り上げたテーマの一つでは：と考えています。
(支部支部事務局 宗方嘉浩)

舞中部会

今回は都合により記事の掲載はありません。



高校部会

卒業三十周年を記念して例年各学年の同窓会が開催されていますが、本年は第三十三回卒業の方々同窓会(昭和五十六年卒業)でした。一月二日に舞鶴グラントホテルにて、倉垣誠校長先生、岸本真澄(1組)・淡路喜一(6組)両恩師、南房夫同窓会会長、福田徹士阪神支部長をお迎えし同窓生

百六十八名の方々の参加を得て盛大に行われました。
懐かしい交流の中で例年にならぬ双鶴同窓会に多額の寄付をいただきました。ありがとうございます。大切に活用させていただきます。

また本会会報三十六号(昭和五十二年発行)は昭和五十五年卒業の有志の方々の編集となっております。お世話になりました。

さて歴史と伝統ある双鶴同窓会を将来に引き継ぐための改革・改善を進めていきます。

一つは評議員会の拡充です。

特に第二十回以降の若い世代の方々に理事・評議員として多数活動していただく様になり、同時に卒業三十周年同窓会開催の卒業年度の方も評議員として加わって頂く事になりました。

二つには同窓会員の絆を深めるホームページの企画・運営です。

現在双鶴同窓会会報「双鶴」は今回で三十六号、年一回二〇〇〇部発行しています。配布はごく限られた範囲となっております。双鶴同窓会の会員の皆様を結ぶツールとしては十分ではありませんでした。

そこで会報「双鶴」と合せてホームページを開設し昨年度の評議員総会で発表させていただきました。その後ホームページ運営委員会(委員長内藤行雄氏)を立ち上

げ内容充実を図って参りました。

以来アクセス数二万二千六百十三(5月4日現在)にも達しました。

ホームページはご存知の通りネットアップしてからの大変です。さらに皆様のご協力を得て常に新鮮なホームページを維持して行きたいと思っております。

双鶴同窓会の活動に今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

(高校部会 大瀧隆信)

★ 定時制の会

今年も定時制同窓会行事等の動きはありませんでした。

今年中には、第六回総会を開催する予定ですが、諸般の事情で成り行きに任せます。

今年の冬は舞鶴では、気象台によると従来にならぬ87センチの積雪に見舞われました。その後も気象異変により関東地方では竜巻被害を受けたり、その他自動車運転による重大人身事故等もあり、又、原子力発電所の再稼働の問題等での節電協力や無用の用の安全対策に協力して行きたいと思っております。一日も早く東日本大震災による被災地の復旧と復興をお祈りするのみです。

(定時制の会 植村英人)

双鶴同窓会ホームページ開設一周年

理事長 林田光弘

会員の皆様には、同窓会運営にご支援ご協力頂きまして有難うございます。

さて、「双鶴同窓会ホームページ」は、昨年の総会にスタートし、満1歳になりました。その間、左記の名簿の通り、高校10回から33回の各学年から委員を選任頂き「ホームページ運営委員会」を立ち上げ、役員会や全体会議で意見交換しながら運

営しております。おかげさまで、アクセス数も一万四千回を超えましたが、もっと多くの会員、特に各支部の皆さんにも活用いただき、会員相互の絆が深まることを期待しております。

今後とも内藤運営委員長を中心に、内容を充実させますので、是非一度アクセスしていただき、多くの方にお知らせ下さい。

双鶴同窓会・ホームページ運営委員名簿

卒業回数	氏名	担当
高10回	柳田博文	
高11回	西野貞穂	
高11回	稲富新子	
高12回		
高13回	山本公彦	
高14回	梅垣成一郎	副委員長補佐(制作)
高14回	嵯峨根八郎	副委員長(制作)
高15回	高崎藤原裕子	
高16回	斎藤由美	
高17回	藤岡美雄	事務局(高校副部会長)
高18回	内藤義雄	委員長(高校副部会長)
高19回	木村純作	
高20回	水嶋孝哲	
高21回	嶋田透	
高22回	大川楓	
高23回	井本徳義	
高24回	柿辻義雄	副委員長(企画)
高25回	井中幸介	
高26回	白田隆一	
高27回	田山一朗	副委員長補佐(企画)
高28回	米本一	
高29回	浜石章	
高30回	小原雅	
高31回	石森千	
高32回	上田富司	
高33回	中田透	
高9回	南房	同窓会会長
高14回	大滝隆	同窓会高校部会長
高17回	大林光	同窓会理事長



頑張ってます部活動

- *第60回両丹総体＝ 男子2位 女子3位
- *サッカー＝ 全国高校総体京都府予選
男子 3回戦進出
- *テニス＝ 近畿大会京都府予選
男子シングルス 水口 出場
女子シングルス 栗山 2回戦進出
ダブルス 栗山・笹田 2回戦進出
京都府高校テニス選手権大会京都府予選
男子 シングルス 有吉 ベスト16
水口 ベスト32



- *ソフトテニス＝ 近畿高校ソフトテニス選手権大会
男子 団体 2回戦進出
個人 井上・井川 2回戦進出
女子 団体 2回戦進出
京都府高校ソフトテニス選抜大会
男子 個人 澤田・東山 ベスト16
女子 団体 2回戦進出
個人 吉田・大中 3回戦進出
中澤・猪野 3回戦進出
京都高校ソフトテニス選抜大会
男子 団体 準優勝
女子 団体 ベスト4
- *バスケットボール＝ 京都府高校バスケットボール選手権大会
男子 ベスト8
女子 出場
京都府高校新人バスケットボール大会
男子 ベスト8
- *バレーボール＝ 全国高校総体京都府予選
男子 2回戦進出
女子 出場
- *ソフトボール＝ 全国高校総体京都府予選
女子 2回戦進出
第56回京都府公立高校ソフトボール選手権大会
女子 2回戦進出
- *硬式野球＝ 京都府秋季高校野球大会
男子 ベスト16
- *卓球＝ 京都府高校卓球選手権大会
男子 シングルス 水口 2回戦進出
女子 シングルス 松本 2回戦進出
松岡 2回戦進出
五戸 2回戦進出

- *バドミントン＝ 近畿高等学校バドミントン選手権
男子 ダブルス 唐澤・小谷 ベスト16
シングルス 小谷 ベスト16
唐澤 ベスト32
増田 ベスト32
近畿高等学校バドミントン団体選手権
男子 6位
女子 17位
- *剣道＝ 全国高校総体府予選
男子 団体 2回戦進出
女子 団体 3回戦進出
京都府立高等学校新人剣道大会
女子 団体 ベスト16
- *体操＝ 京都府高校体操競技春季選手権大会
女子 個人 佐々木亜美 出場
- *柔道＝ 第33回京都府公立学校柔道大会
男子 団体 優勝
全国高校総体府予選
男子 団体 上級 ベスト8



- *水泳＝ 国体京都府代表選考会
女子 200m背泳ぎ 山本実奈 2位
近畿高校選手権大会水泳競技大会
女子 100m背泳ぎ 山本実奈 出場
200m背泳ぎ 山本実奈 出場
- *陸上競技＝ 第44回近畿高等学校ユース陸上競技対抗選手権大会京都府予選
男子 やり投げ 永久祐貴 2位
ハンマー投げ 加藤佑弥 3位
第44回近畿高等学校ユース陸上競技対抗選手権大会
男子 やり投げ 永久祐貴 6位
ハンマー投げ 加藤佑弥 出場



卒業生の進路状況

同窓会員の皆様には、日ごろから生徒の進路状況にお心配りをいただき、ありがとうございます。平成23年度は272名が卒業いたしました。



就職では17名が学校紹介で民間企業に就職し、内定率は100%でした。求人数は前年度比80%の約25件でしたが、地元を中心に50件の指定求人を選び、厳しい雇用環境の中、地元企業様からのご支援を頂いていることには、本当に感謝いたします。また、公務員には、京都府警察、京都府警察事務など7名が合格しました。なかでも海上保安学校については平成9年度以来の合格であり、後輩へのよき刺激になることを期待しています。本校では2年生後半より公務員・就職それぞれ対策講座を実施し、働く上で必要な能力や態度を身につけるよう指導しています。卒業生に占める就職者の割合は低いです。今後社会的スタートに立つ高校生に、会員の皆様のお力強いお力添えをいただきますようお願いいたします。

進学については、国公立大学は、神戸大学2名、京都教育大学3名、広島大学5名など、43名が合格し、41名が進学しました。私立大学では、関関同立に延べ45名が合格したのを含め、関西圏を中心に延べ

262名が合格し、108名が進学しました。また、高等看護学校へは10名、専門学校へは50名が進学しました。なかでも国公立大学合格者の約半数は3年間部活動を続けた生徒であり、まさに学業と部活を両立した生徒です。

全入時代といわれる大学受験ですが、大学間で格差が生まれ、難関大学への進学は厳しいのが現状です。このような状況の中で、生徒が安易な方向へ流れることなく、第一志望校の合格へ向けてひたむきな努力が続けられるよう指導していきたいと考えています。

また、高卒就職者の早期離職率が以前高いことに加えて、最近では大学生の就職率が下がっていることをよく耳にするようになりました。「有名大学へ進学し、大企業に就職することが幸福な人生だ」といった視野の狭い考え方にはなく、自分の興味・能力・適性に応じて、将来の職業を考えられるような職業観を育成する指導を行っています。今後はとも後輩たちにも温かい御支援をいただきますようよろしくお願いします。

進路指導部長 内田雅士

進学 236名

	男	女	計
大 学	86	63	149
短 大		25	25
専 門	24	38	62

就職 23名

	舞鶴市	府内	公務員	計
男	8	2	3	13
女	6	1	3	10

「まいづる」で就職しよう !!

就職面接会

ふるさとコール MAIZURU

日時：平成24年 8月10日(金) 13:00~16:00

場所：舞鶴市商工観光センター 5階

あなたの力が、舞鶴の元気になる

舞鶴市周辺の地元企業約 50 社が参加予定。

地元でお仕事をお探しの方、みなさんが対象です。(来春卒業予定の方、既卒の方、中途採用希望の方)

お問い合わせ

舞鶴市役所 産業振興・雇用対策課 TEL(0773) 66-1021

最新情報は舞鶴市ホームページをチェック !!

http://www.city.maizuru.kyoto.jp/



NHK大河ドラマの誘致活動を展開

去る5月27日に第21回「まいる細川幽斎田辺城まつり」が開催されました。平成4年の城門復活を機に、西地区の歴史文化を見直し、田辺城籠城の史実伝承を中心とした芝居、武者行列、芸屋台の展示など、盛大に実施されました。

第1回のリレーイベントとして舞鶴で細川佳代子氏(細川護熙氏夫人)によるシンポジウムを開催するなど、積極的に大河ドラマの誘致活動を行いまちの賑わい創出に繋がることを期待しています。

また、「細川幽斎」、「細川ガラシャ」、「細川忠興」、「明智光秀」の夫婦・親子らにゆかりの地である、京都府内7市1町(長岡京市、亀岡市、福知山市、綾部市、京丹後市、宮津市、大山崎町、舞鶴市)では、その後の日本の歴史に大きな影響を与えた激動の人生を描いた大河ドラマ誘致を目指し、行政と民間団体が協働で「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」が設立されました。



訃報

謹んでご冥福をお祈りします。

岸本真澄様 (舞中部会長)

平成24年5月22日没 (享年84才)

(本部確認済済のみ)

双鶴同窓会のホームページ

<http://www.soukaku.com/>

編集後記

昨年一月の三十周年の同窓会では、時の経つのも忘れ、懐かしい面々と楽しいひと時を過ごし、お互いに元気をもらおうとともに、同級生の「絆」の深さを改めて認識することができました。

卒業三十周年を機に、双鶴同窓会の活動に参加させていただくこととなりましたが、同窓会報第三十六号の発行にあたりましては、会長様、理事長様をはじめ、諸先輩方から投稿いただき、さらにご担当の先生方にご協力いただきましたことに深く感謝し、厚く御礼申し上げます。最後に、母校並びに双鶴同窓会の益々の発展と、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、編集後記とさせていただきます。

編集委員 (昭和五十五年卒業)

上田富司 櫻井晃人 井田和志
小谷裕司 糸井宏暢 瀧澤修



京都府立西舞鶴高等学校 双鶴同窓会会則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
- 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在住の地には支部を設けることができる。
- 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
- 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
 - 1. 会員 (イ)舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校卒業生 (ロ)舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生 (ハ)西舞鶴高等学校卒業生 (ニ)以上の学校に在学したもので入会を希望する者
 - 2. 客員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会に第4条1項に該当する会員による舞女会、舞中会、西高会の3つの部会をおく。
- 第6条 各部および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に下記の役員をおく。
 - 1. 会長 会員の中から総会で選出する。
 - 2. 副会長 各部会において選出された部長をこれに充てる。
 - 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
 - 4. 庶務理事・会計理事 理事の中より各々若干名会長が委嘱する。
 - 5. 理事 評議員の中より適当数会長が委嘱する。
 - 6. 評議員 各会において互選により1名以上選出する。
 - 7. 監査 会員の中から総会で選出する。
- 第8条 役員の仕事は次の通りとする。
 - 1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
 - 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
 - 3. 理事長は会務全般を処理する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
 - 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
 - 5. 理事は理事会において総会附議事項を審議する。
 - 6. 評議員は評議員会で必要事項を審議する。
 - 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員の仕事は2ヶ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、参与若干名を置くことができる。顧問に西舞鶴高等学校長その他適当な学校関係者を会長が委嘱する。参与に元会長を会長が委嘱する。
- 第11条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の入会に際して会費4,000円を納める。
- 第13条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
 - 1. 会員名簿および会報の発行
 - 2. 会員の慶弔および慰問
 - 3. その他必要な事業
- 第14条 本会は毎年1回総会を開く。ただし、必要あるときは臨時総会を開くことができる。総会が開けぬ場合は評議員会の決議を以て之に代えることができる。
- 第15条 会員は転居、学校卒業、就職、その他身上の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第16条 本会会則の変更は総会の決議による。
 - ①改定:第14条末尾の「部会は毎年1回これを開く。」を削除する。(平成21年6月13日)